

NO.134



ボールパーク建設候補地内定

広がる歓迎ムード



北広島商工会（右）と北広島中央商店街振興会（左）の看板

3月26日、きたひろしま総合運動公園予定地が、北海道日本ハムファイターズのボールパーク候補地に内定を受けました。当日はテレビに釘付けだった方も多かったのではないのでしょうか。

あれから2カ月以上が経過。市内では、ボールパーク歓迎のムードが盛り上がっています。

内定が決まった直後、エルフィンパークに候補地内定を知らせる横断幕を掲げました。その後、市庁舎のエルフィンロード側壁面に縦12mの

懸垂幕を設置。構想実現へ向けた新たな一歩を踏み出したことを強く印象づけています。

市内の菓子店や飲食店などでもボールパークやファイターズをイメージした新商品を考案しました。歓迎ムードを盛り上げる看板も見られます。地域の仲間でファイターズの応援団体をつくりたいという動きもあり、徐々に熱気が高まっています。

ボールパークの開業予定は2023年。これからのまちの変化が楽しみです。

北海道日本ハムファイターズ ボールパーク候補地 北広島市に決定!!



球場やボールなどをイメージした「ライスボールパーク」(カフェ・プリムヴェール)



ハムとクリームチーズなどを使ったパイ菓子「パイターズ」(お菓子の安寿真)

私も楽しみにしています!



まめ記者

学びが・心が・体が元気っぱいのふたばっ子



双葉小学校6年 高橋政晴さん (児童会長)

双葉小学校は、若葉小学校と広葉小学校の二つの「葉」が一つになった学校で、開校7年目を迎えます。

双葉小学校には、1年を通して他の学年と交流を深める縦割り班活動があります。お弁当を食べたり「双葉小フェスティバル」に参加したりします。また、班で「折りづる集会」に取り組み、折った千羽鶴は、姉妹都市の東広島市へ訪問に行く親善大使が、平和記念公園へ届けます。

全校みんな、体力づくりの一つ「なわとびマラソン」に取り組んでいます。5千回、1万回など、たくさん跳ぶと全校児童の前で表彰されます。

双葉小の児童は明るく元気で誰にでも優しく接することができ、もっと伸ばせるように、そして、みんなが気持ちよく学校生活を送れるよう、学校の中心となり活動していきたいと思えます。



双葉小フェスティバル